

目次

会員の皆様への重要なお知らせ	1p
理事会臨時総会議事録	1p
2023年度 GIS学会賞募集	2p
G空間EXPO2022開催報告	2p

企画委員会からのお知らせ	3p
学会からのお知らせ	3p
学会後援行事等のお知らせ	4p
事務局からのお知らせ	4p

【会員の皆様への重要なお知らせ】

【会長 巖 網林】

会員の皆様に重要なお知らせがあります。

さる2月10日に当学会臨時社員総会を招集し、学会事務局体制の変更案を審議し、賛成多数で可決されました。これをもって2023年4月1日より本学会事務局は「東京都千代田区一ツ橋1-1-1パレスサイドビル」に移転し、学会日常業務は「株式会社毎日学術フォーラム」に委託することになりました。これに伴い、東京都文京区弥生2-4-16学会センタービルにある事務局は2023年3月いっぱい終了します。

事務体制の見直しは当学会のしばらくの課題でした。ここ数年会員数は1000名以上続いているとはいえ、微減傾向にあり、すぐに上向きに転じることは難しいと思われます。一方、学会の未来に向けて新しい事業も積極的に展開していきたい。このように財政状況の健全化と新しい発展の可能性の両方から検討した結果、事務局体制を見直すことに至りました。

事務局が移転しても会員サービスを落とすことはありません。会員の皆様はまずご安心ください。3月と4月は移行期のため、事務対応と会員システムのアクセスは少々不便が発生するかもしれませんが、ご理解とご協力をお願いします。

事務体制の変更に伴い、オンラインサービスの充実や事務管理の効率化なども検討しております。ますます充実した知のプラットフォームになるように頑張っております。学会員の皆様には引き続きご参加とご協力をお願い申し上げます。

【理事会臨時総会議事録】

■ 一般社団法人地理情報システム学会 第2回臨時社員総会議事録 [理事 中谷 友樹]

開催日時：2023年2月10日（金）13:00～13:20

開催場所：オンライン（Zoom）開催

本年度の社員総数50名のうち29名が出席し、11名が議決権書面を提出したことから、本総会は定足数を満たして成立した。

審議事項：

第1号議案 学会事務局の移転および事務局体制の変更について

・ 会長より、現状の会員数および財政状況をふまえた財政の健全化の必要性を背景に、事務局体制を株式会社毎日学術フォーラム（東京都千代田区一ツ橋1-1-1パレスサイドビル）に委託し、これに伴って学会事務局を移転する原案の説明があった。採決の結果、出席者29名の賛成、紙面による議決権の行使10名の賛成と1名の反対があり、提案された議案を可決した。

第2号議案 定款の変更について

・ 会長より事務局移転に伴い定款を変更する必要があると説明された。

現行：（事務所）

第2条 この法人は、主たる事務所を東京都文京区に置く。

2（略）

変更後：（事務所）

第2条 この法人は、主たる事務所を東京都千代田区に置く。

2（略）

採決の結果、出席者29名の賛成、紙面による議決権の行使10名の賛成と1名の反対があり、定款第59条に則り、総社員の議決権の3分の2以上の賛成を得て、提案された議案を可決した。

なお、この定款は令和5年4月1日から施行される。

■ 一般社団法人地理情報システム学会 第87回理事会議事録 [理事 中谷 友樹]

開催日時：2023年2月10日（金）13:30～14:00

開催場所：オンライン（Zoom）開催

理事10名全員が出席し、定足数を満たして成立した。

審議事項：

第1号議案 学会事務局の移転および事務局体制の変更について

会長より事務局体制を毎日学術フォーラムに委託し、これに伴って学会事務局を移転する原案の説明があり、これを承認した。

【2023 年度 GISA 学会賞募集】

【学会賞委員会委員長 奥貫 圭一】

2023年度地理情報システム学会賞6部門の募集を行います。学会賞各部門の対象者および提出物の内容、受賞者選考・決定方法等は、以下のホームページでご確認ください。
<https://gisa-japan.org/awards/guideline.html>

募集部門：

- 「研究奨励部門」（本年3月末日時点で35歳以下の者）
- 「学術論文部門」
- 「ソフトウェア・データ部門」
- 「教育部門」
- 「実践部門」
- 「著作部門」

応募期限：2023年7月15日（土）

提出先：地理情報システム学会事務局

自薦、他薦を問わず、たくさんのご応募をお待ちしております。選考結果は、9月末日までに応募者各位にご連絡いたします。また、受賞者は、本年10月に開催予定の第32回研究発表大会で表彰されます。

【G空間 EXP02022 開催報告】

【企画委員会 和田 陽一】

昨年12月にG空間EXP02022が開催されたので報告します。

【概要】※G空間EXP02022開催報告書より

1. 名称 G空間EXP02022 (Geospatial EXP02022 Japan)
2. 開催方式 実地及びオンライン
3. 期間 実地：12月6日(火)・7日(水)10:00～17:00
オンライン：12月1日(木)10:00～25日(日)17:00
4. 会場 東京都立産業貿易センター浜松町館
(東京都港区海岸1-7-1)
5. 主催 G空間EXPO運営協議会

【会員】

公益社団法人日本測量協会、
一般社団法人全国測量設計業協会連合会、
一般社団法人日本測量機器工業会、
公益財団法人日本測量調査技術協会、
一般財団法人宇宙システム開発利用推進機構、
一般財団法人日本情報経済社会推進協会、
一般社団法人地理情報システム学会、
内閣官房、内閣府宇宙開発戦略推進事務局、
国土交通省政策統括官、国土交通省国土地理院、
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

【イベント構成】

G空間EXP02022は、地理空間情報推進活用分野において政策の啓発、産業の活性化、国民の興味醸成や活動支援等を目的とした複合イベントであり、産・学・官それぞれから、G空間情報にかかる政府の取組、最新の動向等をテーマにした

「基調講演・トークセッション」、企業・団体・機関等の展示等により、最先端の技術やサービス等を紹介する「フォーラム」、地理空間情報活用技術の最新情報、研究成果、製品や業界の動向などを発信する「講演・シンポジウム」、公募で選ばれた様々な個人や団体等が、取組や独創的なアイデアやサービス、画期的な技術等を展示する「Geoアクティビティコンテスト」で構成されている。また、今年度は、既存分野にとられない斬新なアイデア・スキルを持つ人材の発掘と事業化を目指すコンテスト「イチBizアワード」を同時開催した。

【各イベントの状況】

1. 開会式

当学会からは所用で会長が欠席したが、石井浩郎国土交通副大臣らが出席し盛大に開催された。会場視察では、副大臣がスポーツ選手出身であることから衛星測位情報を活用したトレーニングについて大変興味を持っておられ多くの質問がされていた。

2. 基調講演・トークセッション

・「デジタル社会にける地理空間情報のポテンシャル ～デジタル庁の取組を中心に～」

デジタル庁から中村弘太郎氏が登壇し、政策の方向性と現在の取り組みを報告した。ベース・レジストリについてわかりやすく説明され、民間出身とのことから官民両方の目線からの解説をされたことが好評だった。

・「ドローンの衛星測位と東京湾横断飛行及び展望」

千葉大学名誉教授 野波健蔵氏が登壇し、日本のドローン開発及び実用方向性について報告した。講演では実証実験の飛行の様子が公開されたとともに、会場には実機の展示がされており、登壇後も展示場所に多くの参加者が来訪していた。

・「地理空間情報アーカイブ・プラットフォーム最前線とコンテンツ開発の民主化」

東京大学教授 渡邊英徳氏と青山学院大学教授 古橋大地氏によるトークセッションとして、2日目の開催ということもあり趣向を変えて先の基調講演よりラフな形式で行われた。注目を集めている民間の衛星画像を活用したフォトグラメトリによるウクライナの被災状況の把握は、世界中の有志による活動であること、過去の災害活動でも有志による地理空間情報の可視化が行われていたことに驚きの声が上がった。

3. 地理空間情報フォーラム

・現地開催：地理空間情報フォーラムには、31の団体が出展した。Web開催と併催であることから出展希望の減少が懸念されたが、新興の地理空間情報企業による新規出展が複数あり活況であった。また、ベンダフォーラムは4団体が発表、ステージでの事例紹介は来場者の多くの目に留まっていた。

・Web開催：Web開催は現地出展の19団体から37本の動画が公式YouTubeチャンネルに掲載された。前年に比べ複数の動画を掲載する企業が増え、動画配信は周知の場として認知が高まっていると感じられる。

4. Geoアクティビティコンテスト

今年で11回目となるGeoアクティビティコンテストは、広く一般からG空間情報を活用したアプリ、システム、機器、

端末、サービス、技術、地図成果、研究成果、活用事例等のサービスや研究、アイデアを募り展示・表彰するコンテストで当会からも山本副会長らが審査委員として参画した。13団体中4団体が学生、2団体が地理教員関連であり教育分野からの参加が増えているとともに、最優秀賞は宮崎県立佐土原高等学校が受賞、数年にわたり企業顔負けのスマートフォンアプリを開発し続けていることが評価された。

5. G空間 EXP02022 講演・シンポジウム

2021年度はオンラインと現地会場とのハイブリッド開催だったが、今年度からはオンラインのみでの開催となった。9団体による実施であったが、動画配信形式による自由度の高さから、ライブ配信およびオンデマンド配信ともにタイムリーかつ利点を生かした配信が行われた。

当会は「基礎自治体におけるベースレジストリとGIS」と題し地方公共団体のデジタルトランスフォーメーション施策の事例紹介と行政経営についてのパネルディスカッションを実施。この動画収録は学術研究発表大会企画セッションに本格的な収録機材を持ち込み、G空間EXPOに向け編集するという試みを行った。視聴回数は期間中586回を記録、講演・シンポジウム内最多視聴数であった。

・地理情報システム学会「基礎自治体におけるベースレジストリとGIS」

講演：高松市 都市整備局 都市計画課
デジタル社会基盤整備室長 伊賀 大介氏
加古川市 企画部 政策企画課
スマートシティ推進担当課長 多田 功氏
コメンテーター：地理情報システム学会
自治体分科会 青木 和人
司会：地理情報システム学会
自治体分科会 浅野 和仁

最近、自治体の情報担当部署の組織名が「スマート」や「DX」を冠した名称に変化。これは「デジタルを前提とした組織や仕組みの改変」をめざすという行政の意気込みの表れではないかと仮定、実際に組織名が新たになった自治体を招き、どのような情報化施策を進めているか話題提供をうけ、デジタルトランスフォーメーション施策の課題について、パネルディスカッションを実施。

6. (同時開催) イチ Biz アワード

今年度は、G空間EXPOと併催する形式で内閣官房地理空間情報活用推進室がイチ Biz アワードを開催した。

これは既存分野にとらわれない斬新なアイデア・スキルを持つ人材の発掘とアイデアの事業化を目指し、地理空間情報を活用したビジネスアイデアコンテストであるとともに、ややエンタメよりの開催形式となった。

【来場数・アクセス数】

- ・実地：来場数 1,424名
- ・オンライン：アクセス数 45,493件 (1,819件/日)

【G空間 EXP02023 開催案】

2023年度の「G空間EXP02023」は、2023年11月開催を目指し準備を進めているところであり、地理情報システム学会

からは企画委員会が担当し、運営ワーキングに参加している。

名称 G空間EXP02023 / Geospatial EXPO 2023 Japan
開催方法 実地及びオンライン
期間 実地：2023年11月7日(火)・8日(水)
オンライン：2023年11月1日(水)～12月10日(日)
会場 東京都立産業貿易センター浜松町館
(東京都港区海岸1-7-1)

【企画委員会からのお知らせ】

【企画委員会委員長 山本 佳世子】

企画委員会では、会員の皆様のご要望を受けて、今期から様々な新規事業を始めています。その一つが研究会で、賛助企業や行政の方々を講師にお招きし、現在のところ、オンライン開催を中心に会員の皆様限定とし、無料で開催することにしています。この研究会では、密度の濃い質疑応答とディスカッションを通して、会員の皆様の間の交流・連携を深めていただけることを期待しております。

第1回研究会は、2023年1月11日(水)14:00～16:00に開催いたしました。この時には、国土交通省国土地理院地理空間情報部情報普及課の竹崎宗一郎様と浅田剛史様を講師にお招きし、「地理院地図の紹介」と題するご講演をお願いいたしました。国土地理院からは講師2名を含む5名にご参加いただきました。また、新年早々の平日に開催したにもかかわらず、17名の会員の皆様にご参加いただきました。ご講演後には、参加者の皆様から、地理院地図の将来計画、学校教育での利活用、各研究分野での利活用、官民学の連携などについて質問やコメントがあり、充実した中身の濃いディスカッションが行われました。

企画委員会主催研究会は、今後も、賛助企業や行政の方々を講師にお招きして、継続的に開催いたします。会員の皆様からのご提案を受け付けておりますので、ご希望、ご要望をお寄せください。

【学会からのお知らせ】

■ 2023年度一般社団法人地理情報システム学会定時社員総会のご案内

社員総会で議決権を有するのは代議員の方のみですが、他の正会員の方も出席し意見を述べていただくことができます。

日程：2023年5月27日(土)13:00～14:00(予定)

方法：ハイブリッド開催

会場：電気通信大学(東京) 東地区新C棟C-103室

詳しくは…<https://www.uec.ac.jp/about/profile/access/>

代議員以外で出席希望の方は、5月26日(金)正午までに、事務局までご連絡ください。資料(PDF)をお送りいたします。

■ 日本地球惑星科学連合2023年大会

日程：2023年5月21日(日)～26日(金)

会場：幕張メッセ(千葉県)

詳しくは…https://www.jpogu.org/meeting_j2023/

なお、当学会関連セッションは以下のとおりです。

H-TT14 Geographic Information Systems and Cartography
H-TT16 地理情報システムと地図・空間表現
双方とも口頭発表 24 日 (水)、ポスター発表 25 日 (木)

■ 2023 年度学術研究発表大会のご案内 《予定》

2023 年度地理情報システム学会研究発表大会は、10 月 28 日 (土)、29 日 (日) の両日、電気通信大学 (東京) で開催予定です。発表申し込みの手続き方法など詳細は、決まり次第、メールニュースや Web でご案内いたします。

(発表申込スケジュール: 予定)

アブストラクト提出: 7 月 1 日 (土) ~ 7 月 15 日 (土) 正午
講演論文集用原稿提出: 7 月 1 日 (土) ~ 8 月 31 日 (木) 正午

■ IAG' i 2023 (International Association of Geoinformatics) (予告)

主催: 一般社団法人 地理情報システム学会

日程: 2023 年 10 月 28 日 (土) ~ 29 日 (日) 予定

会場: 電気通信大学 (東京) オンライン開催の可能性あり
詳しくは決まり次第、ご案内いたします。

■ 2023 年度初等中等教育における GIS を活用した授業に係る優良事例表彰について (予告)

2023 年度も表記の表彰事業を予定しております。募集要項および過去の授賞については、以下の URL でご確認ください。2017 年度から、受賞者の許可を得られたものについては、資料を公開しております。

<https://gisa-japan.org/awards/post-1.html>

応募期間: 2023 年 7 月 1 日 (土) ~ 8 月 31 日 (木) 17 時必着
表彰 (原則各 1 点以内):

国土交通大臣賞 (総合的な観点)

地理情報システム学会賞 (GIS の効果的な活用の観点)

日本地図センター賞 (地図の効果的な利用の観点)

ESRI ジャパン賞 (GIS の教育的な利用の観点)

主催・後援 (予定を含む):

主催: 一般社団法人地理情報システム学会

後援: 国土交通省、一般財団法人日本地図センター、
ESRI ジャパン株式会社、一般社団法人人文地理学会、
日本地図学会、公益社団法人日本地理学会、
毎日新聞社

選定された個人またはグループの代表には、10 月開催の「第 32 回地理情報システム学会学術研究発表大会」内で表彰式を執り行うとともに、事例発表もしていただくことを予定しています。なお、大会が対面で行われる場合、事例発表者の旅費等については主催者側で全部または一部を負担の予定です。

学会後援行事等のお知らせ

■ 日本学術会議公開シンポジウム・第 15 回防災学術連携シンポジウム「気候変動がもたらす災害対策・防災研究の新展開」

主催: 日本学術会議 防災減災学術連携委員会、
一般社団法人防災学術連携体 (GISA もメンバー)

日程: 2023 年 4 月 11 日 (火) 13:00~17:00

会場: Zoom ウェビナー

定員: 1,000 名

詳しくは…https://janet-dr.com/060_event/20230411/20230411_leef.pdf

■ 第 20 回 GIS コミュニティフォーラム (後援)

主催: ESRI ジャパンユーザ会

日程: 2023 年 5 月 18 日 (木) ~ 19 日 (金)

会場: ハイブリッド形式 (東京ミッドタウン/オンライン)

詳しくは…<https://www.esri.jp/events/gcf/gcf2023/>

【事務局からのお知らせ】

■ 事務局移転および事務局体制の変更について

2023 年 4 月 1 日 (土) から、事務局は以下に委託されます。

株式会社毎日学術フォーラム

〒100-0003

東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル

TEL: 03-6267-4550 (平日 9:30~17:30)

メールアドレス: maf-gisa@mynavi.jp

■ 会員登録変更・退会等について

現在の会員登録の状況は、学会 WEB ページの会員専用ページから、ご自分で確認・変更することが出来ます。なお、今年度一杯で退会希望の方は、2023 年 3 月 31 日までの手続きが必要です。(4 月 1 日から、新年度の学会費が発生します)

退会手続き

会員専用ページから、ご自分で手続きが可能です。なお、今年度までの会費納入済みの方でも、「退会は、会費納入後に承認されます。会費未納がありますので、『会費支払申請』画面にて支払状況をご確認の上、お支払いをお願いします。」というメッセージが届く場合があります。事務局で訂正し、「退会完了のお知らせ」をお送りしますのでご確認ください。3 月 31 日 23:59 までに退会手続きが取られた場合は、新年度の年会費は発生しません。

会員登録内容の変更手続き

3 月 30 日 (木) までは対応可能です。その後は新しい会員システムに移行しますので、会費請求と一緒に送りするログイン方法のご案内までは、メールで変更の届けをお願いします。

■ 会員新システムについて

4 月 1 日 (土) 0:00 より、会員システムが新しくなります。委託先の毎日学術フォーラムは、2008 年 5 月にプライバシーマークを取得し、個人情報の厳格な管理を行っています。会員システムへのアクセス方法については、4 月下旬にお手元に届く年会費のご案内に同封いたします。

■ 2023 年度年会費について

2023 年度年会費 (4 月 1 日~2024 年 3 月 31 日) 納入については 4 月下旬、毎日学術フォーラムよりご案内いたします。

■ 学生会員のみなさまへ

2023 年度 (4 月 1 日以降) に入りましたら、学生証のコピーの提出が必要です。詳しくは 4 月下旬、毎日学術フォーラムよりご案内いたします。

2023年2月末現在の個人会員 1090名、 賛助会員 50社

賛助会員

朝日航洋(株)、アジア航測(株)、アドソル日進(株)、(株)インフォマティクス、ESRI ジャパン(株)、NEC ソリューションイノベータ(株)、NTT タウンページ(株)、愛媛県土地家屋調査士会、応用技術(株)、大阪土地家屋調査士会、(株)かんこう、関東中部 G 空間情報技術研究会、(財)岐阜県建設研究センター、九州 GIS 技術研究会、近畿北陸 G 空間情報技術研究会、(株)こうそく、国際航業(株)、国土情報開発(株)、(株)古今書院、GIS 支援センター、GIS 総合研究所いばらき、ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)、(株)ジオテクノ関西、(株)ゼンリン、中四国 G 空間情報技術研究会、デジタル北海道研究会、東北 G 空間情報技術研究会、(株)ドーン、長野県 G 空間情報技術協会、にいがた GIS 協議会、日本工営都市空間(株)、日本情報経済社会推進協会、日本スーパーマップ(株)、(財)日本測量調査技術協会、(財)日本地図センター、パシフィックコンサルタンツ(株)、(株)パスコ、東日本総合計画(株)、北海道 G 空間情報技術研究会、(株)マップクエスト、(株)マップル、(株)松本コンサルタンツ、三菱電機(株)、三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株)、(財)リモート・センシング技術センター、自治体会員：経済産業省特許庁、総務省統計局統計研修所、(独)統計センター、長野県環境保全研究所、福岡県直方市

学会分科会連絡先一覧

<ul style="list-style-type: none"> ●自治体：小泉和久（千葉県浦安市） 事務局：青木和人（あおきgis研究所） Tel：050-5850-3290 E-mail：kazu013057@gmail.com ●ビジネス：高阪宏行（地理情報技術研究所） Tel：03-5379-5601 E-mail：info@georetail.tokyo ●防災GIS：畑山満則（京都大学防災研究所） Tel：0774-38-4333 E-mail：hatayama@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp ●地図・空間表現：若林芳樹（東京都立大学） Tel：042-677-2601 E-mail：wakaba@tmu.ac.jp 	<ul style="list-style-type: none"> ●FOSS4G：Venkatesh Raghavan（大阪市立大学） 連絡先：嘉山陽一（朝日航洋(株)） Tel：049-244-4032 E-mail：youichi-kayama@aerosahi.co.jp ●若手分科会：関口達也（京都府立大学） Tel：075-703-5428 E-mail：ta-sekiguchi@kpu.ac.jp ●IoTとGIS：巖網林（慶應義塾大学） Tel：0466-49-3453 E-mail：yan@sfc.keio.ac.jp
--	---

地方支部の連絡先一覧

<p><北海道支部> 支部長：株式会社ドーコン 三好達也 連絡先：NPO 法人 Digital 北海道研究会（内） Tel：011-299-8104, E-mail: gisahokkaido@dghok.com</p> <p><東北支部> 支部長：東北大学 井上亮 Tel：022-795-7478, E-mail: rinoue@tohoku.ac.jp</p> <p><中部支部> 支部長：中部大学 福井弘道 連絡先：杉田暁（中部大学） Tel：0568-51-9894（内線 5714） E-mail: satoru@isc.chubu.ac.jp</p> <p><関西支部> 支部長：大阪工業大学 吉川眞 連絡先：田中一成（大阪工業大学） Tel：06-6954-4293, E-mail: gisa@civil.oit.ac.jp</p>	<p><中国支部> 支部長：広島修道大学 川瀬正樹 Tel：082-830-1210, E-mail: kawase@shudo-u.ac.jp</p> <p><四国支部> 支部長：香川大学 野々村敦子 Tel:087-864-2146, E-mail: nonomura@eng.kagawa-u.ac.jp</p> <p><九州支部> 支部長：九州大学 三谷泰浩 Tel:092-802-3399, E-mail: gisaku@doc.kyushu-u.ac.jp</p> <p><沖縄支部> 支部長：沖縄国際大学 崎浜靖 E-mail: sakihama@okiu.ac.jp 連絡先：澤岬直彦（NPO 法人沖縄地理情報システム協議会） Tel：098-863-7528, E-mail: takushi7015keisayasaki@gmail.com</p>
---	---

■ 編集後記 ■

初めてニューズレターを担当します。歴代の編集者の方々を見て大変恐れ多い限りですが、今後ともよろしくお願いいたします。

事務局の皆様、これまで本当にありがとうございました。GISの魅力と面白さに取りつかれ本学会に入会し、まさに知のプラットフォームとして、数多くの充実した活動と情報を提供いただきました。GISを取り巻く技術の進化は目覚ましく日々勉強の身ではありますが、企業のGIS技術者として、大学の非常勤講師として、少しずつお返しをしていければと思います。

会員の皆様におかれましては、今後ともGIS学会をよろしくお願いいたします。(株式会社 EARTHRAIN 谷口亮)

地理情報システム学会ニューズレター

第125号 ●発行日 2023年3月27日

■ 発行

一般社団法人 地理情報システム学会

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 4階
TEL/FAX: 03-5689-7955 E-mail: office@gisa-japan.org
URL: <https://www.gisa-japan.org/>

■ 弥生雑記 ■

最終頁のこの場所に「弥生雑記」が置かれたのは、64号（2007年12月）からでした。どんな経緯でそうなったか、今となっては不明です。執筆はGIS専門外の事務局員が担当することになり、しばし途方に暮れた後、開き直ってGISとは全く関係のないことを書き綴るようになりました。いつお叱りを受けて休止になるかと思っていましたが、時折、内容についてのお問い合わせや感想までいただき、大変嬉しく思っていました。長くお読みいただき、ありがとうございます。「弥生雑記」は、これが最終回です。

臨時総会の議事録にありますように、4月から事務局体制が一新されます。今後、どのような紙面でお届けすることになるかわかりませんが、ニューズレターの発行は続きますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。(学会事務局)